



「古墳時代」？どんなくらし？



挑戦しよう体験活動室メニュー はにわは何色？？

ささめだいら
収蔵資料紹介 矢吹町笠目平遺跡出土 棒秤の錘
さおばかり おもり
どうして大切？文化財

「古墳時代」? どんなくらし?

企画展「ようこそ！古墳時代へ - 阿武隈川上流域に暮らした人びと -」の見どころを紹介します。

文：阿部 知己（学芸課副主幹）

《どんなくらしか見てみよう！》

古墳時代は1700年前頃から1300年前頃まで続きました。当時の人びとは、どんな家に住み、どんな衣装を着て、何を食べていたのかな?さまざまな疑問がありますよね。遺跡から出土した土器や埴輪などの資料から、どんなことがわかるのかな?例えば、当時の「住」の様子が、少しだけでもわかるように、玉川村江平遺跡たまがわむらえだいらいせきからみつかった住居をもとに、家の中の様子を少し再現してみました。古墳時代の人々は、どんな食材を使って、どんな料理をつくっていたのかな?と想像してみるのもおもしろいかもしれません。

《おねがいごとはなしに?》

人々は、くらしの中でさまざまな場面で、いのりをささげています。あるときは、ご先祖様に子孫の無事をいのり、またあるときは、豊穣を願い天に、または山や川に、いのりをささげてきました。古墳時代の人々も、きっと現代の人々と同じように、先祖や、自然にいのりをささげていたのかもしれませんね。本宮市高木遺跡からは、おいのりの時に使った粘土で作った勾玉などが見つかっています。

《入口をはいるとそこは…》

人は死を迎えると、お墓に葬られます。それは、いつの時代も同じのようです。古墳時代には、古墳と呼ばれるお墓に葬られた人もいました。古墳時代の人々は、あの世でのくらしを、どのように思い描いていたのでしょうか？自分が生きていた時よりも、もっと豪華で贅沢にと、願っていた人もいたのかもしれませんね。今回の企画展を通じて、古墳時代について何か発見があれば、とてもうれしいです。

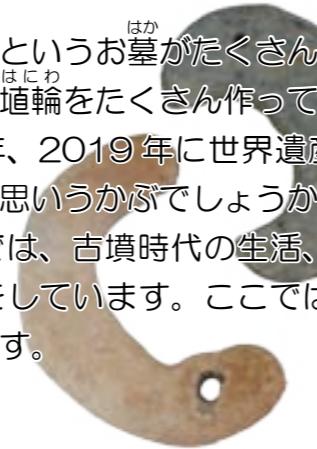


みなさんは、「古墳時代」^{こふんじだい}と聞くと、どんなことを思いうかべますか？

古墳と呼ばれるというお墓がたくさんつくられた時代。
さまざまな形の埴輪をたくさん作って、古墳に並べていた。
そうそう、昨年、2019年に世界遺産に登録された百舌鳥・
古市古墳群などが思いうかぶでしょうか。

今回の企画展では、古墳時代の生活、いのり、そして死というテーマで展示をしています。ここでは、展示の内容をほんの少しだけ紹介します。

石・土製模造品（勾玉）
上：郡山市正直A遺跡
下：本宮市高木遺跡



挑戦しよう 体験活動室 メニュー

文：笠井 崇吉（専門学芸員）



力士埴輪イメージ

られます。今回の体験でモデルにした原山1号墳出土の力士埴輪は全身真っ赤に塗られていたようですし、鬼穴古墳出土の家形埴輪では、連続する赤い三角形が描かれています。

古墳時代の人たちは、赤色は邪鬼を払う色と
考えていたようで、埴輪以外にも、古墳の埋葬
施設などに赤い顔料が多用されています。

ほうそよ
そういうえば、疱瘡除けの赤べこは、その名の通り赤いですし、日曜朝のスーパー戦隊のリーダーも決まって赤ですから、赤色が悪を退けるイメージは現代まで引き継がれているのではないか。ひつ



家形埴輪イメージ



左下は、矢吹町笠原平遺跡から出土した9世紀前半の石製錘です。遺跡は、中通り南部の典型的な拠点集落跡で、出土した18号住居跡は一辺6.4m程度の規模を持ちます。郡衙・寺院から離れた集落レベルまで、重さの統一基準の情報が伝播し、新たな計量具が普及しました。



収蔵資料紹介
矢吹町
ささめだいらいせき
笛目平遺跡出土
さおばかり おもり
棹秤の錘
文：菅原 祥夫
(専門学芸員)

律令国家が誕生する
と、唐の制度にならつて
重さの統一基準（両^{りょう}・^{リウ}・^{ルイ}）⁴²
g) が決められ、計量具
はそれまでの天秤ばかり
から、棹秤に変化しました（左上）。各地の
普及状況は、遺跡から出土する錘の分布か
ら知ることができ、政權から蝦夷社会とは区
別され、安定した律令国家圏内だった福島県
では、東北地方で最も多い7遺跡、7点が古
代出土例（8世紀後半～12世紀前半）として

はにわは何色？？

まほろんには、「体験活動室」という部屋があります。ここには、
体験活動をサポートするアテンダントが常駐してあり、感染症
対策の制限はあるものの、遺跡や文化財にちなんだ、月毎に変
わるメニューを予約無しで体験することができます。

10月と11月の体験メニューは、9月26日（土）に開幕の企画展「ようこそ古墳時代へ」に関連したもので、「ミニはにわ赤彩体験」を行う予定です。10月は、泉崎村原山1号墳出土の力士埴輪、11月は、矢吹町鬼穴古墳出土の家形埴輪をモデルにしたミニ埴輪に赤色顔料を塗っていく体験です。

ところで、みなさんは、埴輪の色についてどんなイメージをお持ちでしょうか？おそらくオレンジ色の焼いた土の色を思い浮かべる方が多いのではないでしょうか。もちろんベースの色はオレンジ色なのですが、埴輪の中には、赤色に塗られたものが見

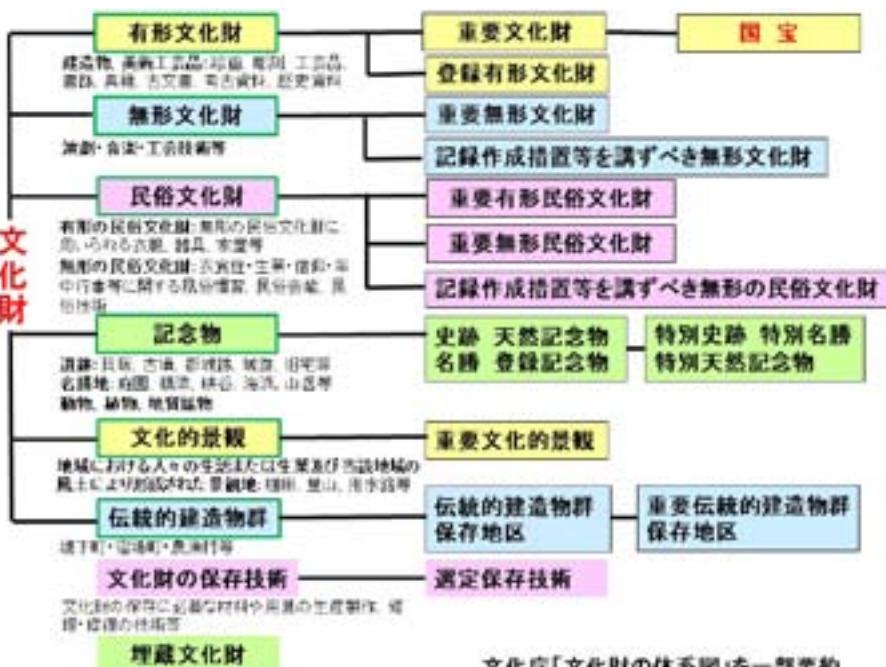
矢吹町
ささめだいいらいせき
笠原平遺跡出土
さおはかり おもり
棹秤の錘
文：菅原 祥夫

どうして大切? 文化財

そもそも文化財って?どうして大切?そんな疑問を考えます。

文:山元 出(学芸課副主幹)

文化財を守るために法律「文化財保護法」に示された内容をまとめたものが、下の図です。きわめて簡単にいうと、昔々のご先祖様から今暮らす私たちに伝えられたモノやワザ、祭などの行事、習慣、風景や景観、そしてこれらの記録といったものが文化財となっていくものと言えるでしょう。



まほろん SNS

YOUTUBE
チャンネル登録してね



INSTAGRAM
いいね! & フォローしてね



まほろんの主な今後の予定

- 9/26(土)～12/13(日)
企画展「ようこそ! 古墳時代へ
一阿武隈川上流域に暮らした人々」
10/31(土)・11/1(日)
アクアラバン(移動水族館)がやってくる!!
11/1(日)～11/29(日)
まほろん感謝月間
11/6(金)・11/7(土)
実技講座 土器づくり初級編

- 11/21(土)
文化財講演会
12/19(土)
館長講演会

※新型コロナウイルス感染症の拡大の状況により、行事予定が変更となる場合があります。
※講演会・実技講座は事前予約制です。
詳細は、お問合せ頂くか、まほろんのホームページをご覧ください。

まほろん
通信
Vol.77

令和2年10月14日発行

開館時間 9:30～17:00 (入館は16:30まで)
休館日 月曜日 (月曜日が祝日・休日の場合にはその翌日ですが、GWとお盆期間中は開館します) / 国民の祝日の翌日 (土・日曜日に当たる場合は開館 / 年末年始 (12月28日～1月4日))
入館料 無料 (体験学習の内容によっては、材料費が必要な場合があります。)

お問い合わせ

まほろん

福島県文化財センター白河館

〒961-0835 福島県白河市白坂一里段86

☎ 0248-21-0700

fax 0248-21-1075

ホームページ [まほろん](#)



編集後記

埴輪だけのまほろん通信になりました。「埴輪はこわハーフ」と考えていると、早口言葉を言つてゐる気分になりますが、愛着も分で埴輪に色を付けることができまします。きっともっと愛着がわいてきます。きっともっと愛着がわいてきます。

埴輪だけのまほろん通信になりました。「埴輪はこわハーフ」と考えていると、早口言葉を言つてゐる気分になりますが、愛着も分で埴輪に色を付けることができまします。きっともっと愛着がわいてきます。